

都市直下地震に備える

～ 阪神淡路大震災・熊本地震に学ぶ ～



人口150万人の政令指定都市・神戸を襲った阪神淡路大震災から21年が経ちました。この間に、新潟県中越地震、東日本大震災、そして今年4月の熊本地震と連続して震度7の地震が発生、甚大な被害をもたらしました。とりわけ、阪神淡路大震災と熊本地震は都市直下を震源とした地震であり、同じく直下地震の切迫が指摘されている東京がこの2つの地震からなにを学び、被害を未然に予防する立場からの備えに役立たせるのか問われています。

今回のシンポジウムは、東京大学地震研究所で、首都直下地震を専門に研究されている平田直地震予知センター長・教授をお招きし、お話をうかがいます。



- 講演 -
平田直

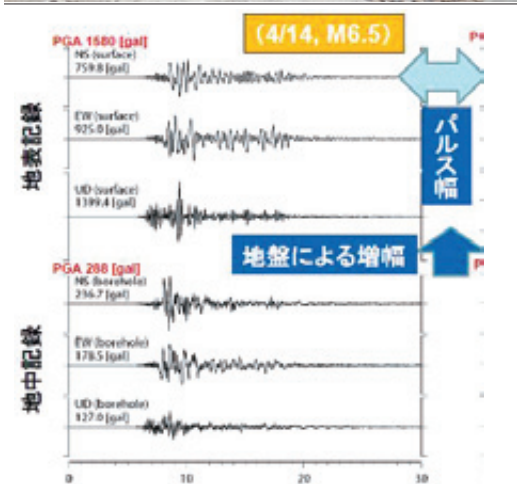
東京地震研究所
地震予知研究センター長・教授

文部科学省・首都直下地震防災・減災特別プロジェクトリーダー
東京都・防災会議地震部会部会長

著書：首都直下地震（岩波書店 2016）、地殻ダイナミクスと地震発生（分担、菊地正幸編・朝倉書店 2002）巨大地震・巨大津波 一東日本大震災の検証（平田直・佐竹健治・目黒公郎・畑村洋太郎 朝倉書店 2011）
メディア：NHK そなえる防災 連載

熊本現地レポート

今年4月の熊本地震では、震源地となった益城町の住宅や熊本市内のマンションなどで、新耐震基準で建てられたものも含め、建築物の倒壊や崩落が多数、発生しました。南阿蘇村ではかつてない規模での斜面崩壊も発生しました。現地で系統的な調査・支援をおこなっている新建築家技術者集団が現地の報告をおこないます。



防災科学研究所資料

日時：9月27日（火）開場：18：00 開会 18：30

会場：文京区民センター3階 3A会議室 最寄り駅：地下鉄春日駅

資料代：1000円



主催 革新都政をつくる会 〒170-0005 豊島区南大塚 2-33-10 東京労働会館5階 tel 03-5978-4031 fax 03-5978-5052 e-mail: info@kakushintosei.org
東京災害対策連絡会 〒170-0005 豊島区南大塚 2-33-10 東京労働会館4階 東京自治労連内 tel 03-5940-7951 fax 03-5940-7957